



白
王
の
心
を
貫
く
者
に
随
う

DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の
購入・閲覧禁止

モリアーネ 君ッッッッ!!



やあ

こちらの彼は
私マスター

じゃないよ!
また僕の隣でしょ?
勝手に使ったでしょ?

困るよ! 思ってた
使おうとすつからかん
見たらちん!!
なんだもん!!

また随分と
賑やかだね

一体
どうしたの
かな?

御機嫌よう
諸君!

悪の天才
ジエームズ・
モリアーティだ

そんな...

知的好奇心を
刺激しつくりたりとも
つまらない男

では
あるが

はあ?

「好きにしている」と
言ってきたのは
どこの誰だったか
なあ?

それは...

私ほど
優秀な人材を
雇うのには
これくらい
対価は妥当!

むしろ
サイビス
くらいい
だが?

どうやら私に
気があるようなので
色々「利用」させて
もらっている

私の性質を
見抜けないまま
汪蘭に約束した
あるのでは？

自分の
サーヴァントの
手綱も握れない
なんて！

まったく
情けないネ
君は

ガキが……
ナメやがって……

命呪を以て
命じる……

「しゅんちゅん
しゅんちゅん」

！



素直に認めよう
；実のところ
私は君の評価を
低く見積もっていた

そして
それは間違いで
なかったと
今確信した

そんな
馬鹿馬鹿しい
ことに命呪を
切るとは！

いや……

もつとも
カルデアの命呪に
「強制力」など
ないかね……

……ハッ

ガッ……

第一！

この私が
そんな無様な
真似をする
わけが――

そっか〜
残念だな〜
(棒)

まっ…
待て!!
待て!!

どう
なってる!!?
説明しろ!!

んー?
もー
ないなあ…

ダウインチ
ちゃんたちに
相談したら

まっかせて！
懲らしめるには
いい機会かも
しれないしね！

カルデア内の彼への
クレームもこれで減れば
良いのですが…

あの青二才めに一杯
食わせてやりたまえ！

奇遇ね、私もあの死神猫には
お仕置さが必要だと思っていたわ

僕はツッコまないからな…

スレイブリー
「隸属」の
コマンド
コードだよ

Arts
+500

Bus
+500

…とはいっても
そんなには強い
強制力はない
らしいけど…

何を
和気藹々としてるんだ
コイツらは…!!

「ほら：自分で「シャイ」だって言ってたよね？」

「だから徹底的にさせるのいい思いをつけて暮らして！」

©ミクトラン・プロローグのモリアーティ映像

それは「奥閣帯の私」であって「私」ではない!!

どう? だっけ?

フワン：この程度でご主人様面かな?

こんなものを使わないと強気に出れないだなんて

つくづく情けないなア君は!

オラ

さつさと服脱いでオナニーしろ

は?

お前のマントのものを握持らせられるのウンザリなんだよ

俺のお嫁さんにされて1のか

ヒラヒラジャラジャラと視覚的にもうるせえ脱がせ方もわからん服着やがって!

何故武装が勝手に!!

はッ! 私か自分か... 解いたのか...?

それに... 何と云った? 自慰? 誰かするものか!!

絶対! しない!!

堪るか...ツ!!

...え?

ちょっと...

ギリ...



モリアー
テイ君…

その年で
床オナ!?

ずいずい♡

ずいずい♡

見るな…ッ

おっつこナ!?

モリアーティ選手ッ！
床オナ癖を自ら
暴露する痛恨のミス！
これは恥ずかしい!!

痛いな!!



屈辱だ…!!

こんな…
学生のイジメのような
低レベルな仕打ちの
三休何が面白い!?

マスター君の
悪趣味に付き合っている
暇などないというのに…!!

何か打開策が
あるは…

びびろ♡





そんな所…
きつ
汚いだろ!

な
な
何を…!?

はア!?

は…

やめツ…
変態!!

サーヴァント
だから
綺麗だよ♡

うるさい
なあ…

黙って
イけ!

いっ!
!?

ひび



やめ…♡

待…♡

こんた
…♡

腰が勝手にツ

待…♡

ハロオ

こらこら
逃げるな♥

!?

おら…

舌
絡ませろ♥

ハハハ

キス…!!

気持ち
悪い…!!

それに…
何だ…!?

抵抗
できな…!!

お前みたいなガキ
指一本で屈服
させてやれるん
だからな…!!

ナメるな!

おっ♥

おっ♥ やめっ♥
おっ♥ やめろっ♥

いけ!♥

いっ♥ ひっ♥
いっ♥ ひっ♥

おら
いけ!!

ンギョッ♥
ン…グッ♥

なに生意気に
我慢してんだ
クソガキッ♥

謝罪アクメ
しろっ♥

ぐいぐい…♥

おっ♥ おおお…っ♥

数学だけじゃなくて
メスの才能まで
あるのかよ…

天はお前に
何物を与えれば
気が済むんだよ

あ!
そうそう…
ブレゼントが
あるんだった

ちがっ…♥

は
は

うん
可愛い！

やっぱり
青だよな♡

ほ

♡

ほ

モリアーティ君に
似合うと思って
買ったんだ♡

わんわん...

逃げなく
ては...!!

ほ

「逃げるなんて
本意ではないが...

この男は
イカれている...

このままでは...
私は...

よおし!
交尾の準備も
整ったし...

俺の
チンポケースだと
自覚するまで

みっ...ちり
子宮に教え込んで
あげるね♡

↓
↓
↓

モリアーティ君の
可愛い尻カバガバに
なっちゃったら
ゴメンね??

そんな怯えないでよ
礼装でちょっとはかり
ドーピングしてるから
サイズはデカいけど...

まあ
サードアクトだし
大丈夫でしょw





なんつだ
これ

イクの
止まら
ないっ♥

頭の中
ななっ♥
ななっ♥
ななっ♥
しらないっ♥

これ以上は
まずい...!!

カキマンゴ
気持ち良すぎて
もっ射撃そっ...

しっ♥え...あおっ



だすなっ♥

やめ♥

はあっ...

なかつ♥

やめろ...っ♥

「だす」!?
まさか...っ



アキバ!!!

アキバ
あ

だめだ

イツ

フ……..
時精した

……ん?

寝ちゃった?

——斯くして
私の地獄は始まった



あ!

あつ
起きた?

ひゅ!!

キョ

あめい

どうでも
いいから
離れろツツ!!

ゆるゆるして
気持ち悪い...!!

すやすや
気持ちよさそうに
失神してたからさー

「亦無脱で
我慢してたんだよ」

あ!

乳首っ
やめろっ

あ

キョ

そんなに
警戒しなくても
朝から挿れたり
しないよ

こう見えて
忙しいし

ただいまー♡

基本的にマスター君が留守にする時は

いい子にしていたかな？

ごめんね？
寂しかったよね？

「絶頂するな」と命じて放置されるのが常となり――

帰ってくると私の体を玩具のように好き放題に弄ぶようになった

悪趣味にも程がある!!

逆に私が部屋を留守にした時は

おかえり♡

そんなもの近づけるな！

そんなこと言っつて！

サーヴァントにとつて魔力はこ馳走でしょ

帰ってくると溜め込んだ精液を飲むよう強要される…

ああああ

皇帝がしていい顔じゃなくなってる笑

マスター君の精液で身体が喜んでしまっ♡

あッ♡

あッ♡

あッ♡

ためたっ♡

逆らえない…♡

は♡

おっ♡ん…

♡

さっ…君の魔力なんて…♡

こんな男の性玩具にされるなんて御免だッ…♡

あのくたらんコードさえ判がせれば…♡

甘いキキメながらの言っても説得力皆無だぞ！

チンポイラつかせんか！！

必要ない…♡

あっ♡

うっ♡

うっ♡

勿論私も彼の思い通りになるのは不願のため抵抗を試みるのだが

コシ挿れてか周回行こう

断る！

するわけないだろうそんな事!!

アナル、アナル

お願い…ね?

気が付くとまるで従順な飼い犬のように彼の命令に従っている

理系とはいえサーヴァントである私と人間の方が圧倒的に力で勝るはずなのに!

ズッパッパッパッ

ズッパッパッ

は……♡

は……♡

あ……♡

は……♡

は……♡

……

お前最頂さね過ぎ
なんだよ!!
俺以外の大人にも
色目使ってるんじゃない
か!?

してないッ!!
してないッ!!

マスター君は……

最初に言っていたように
私を徹底的に辱め
プライドを折ることが
目的なのだろう

あどっ♡……
覚えていろ……♡

だがクラススキルのお陰か
私の理性は正常に
機能しており
彼の思惑通りには
なかなかにいかなかった

さまあみろ!
……と笑ってやりたい
気持ちもあるが



かえってそのせいで
悪い方向へ向かって
いないか？

あらっ…

孕めっ♡

孕め♡

おおお…♡
めっ♡

めく
れるっ♡

手放して
身を委ねてしまえば
楽だったのに、という考えが
頭をよぎってしまっこと自体
既に異常ではないか？

大人しく…
受精しろ…ッ

いはせ…
イグッっ…♡

日に日に
自分の身体が、思考が、
私のものでなくなっていくような

大丈夫！
今周りに誰も
いないから

そういう
問題じゃが……

くそっ……

今日は
アキバに
買いもの
行くよ

今朝

あ！
コレお尻に
入れてね

いきなり
言い物に行く
と思えばこんな……

じゃ
お会計

即決!!

は!?
着替えは……

折角だし
このまま着て
帰ろうよ

いいい
よね?

ええ！
できますよ

可愛い♡

カワイイ
でしょ♡
この子♡

そう
すねw

何を考えて
いるんだ!?



こんなのむしろ
全裸の方がまし

なう…

正気か!?

袋どう
しますー？

あー
そっちも
袋いいです

すく
使っんで笑

ド変態
マスターが…!!

コードさえなければ
今すぐにでも…ッ

だ
大丈夫？
…ですか？

なう…
なう…
なう…

…う…
…う…
…う…



今の状況じゃ
説得力ないよ？
痴女だよ

君が…
命令したん
だろ……



人前で
あんな…ッ

最低だ…

うん…
ごめんね…

変態…

路地裏も
愛つて…



でも
モリアーティ君も
でしょ？

…



ほんとに
それだけ？

交尾したくて
堪えないって顔に
見えるけど

留守……
でしょうか？

先輩の声
がした
ような
気が……

ごめんよ
マシユ……

おっ!?

と……

よっ

羽根
みたい
に
軽い!!

な
んて
むし
ろ笑
結構

腰……
が
抜
け
た……

……責任も
つて
運
び
た
ま
え……

君
の
せ
い
だ
ぞ……

素
直
じ
ゃ
な
い
な
あ

——素直
じゃない？

最初から素直に「嫌だ」と言っているだろうか？



嘘だ！

そんな
訳がない！！

あれれ？
気付いて？
なかったの？

てっきり
気付いてて
付き合っ
てくれてたんだと
思ってたけど

おかしー！

だって

有り得ない

違う……

でないぞ

僕……

私は……？

私は一体

何故君の
命令に従って

今すぐ
抜け！

は……は……

でないぞ
ペニスを尻の穴で
捻じ切る……！！

おらっっ！！

おら
怖い怖い笑

スケベな本性
見え見えなんだよ
おマヌケ皇帝が！

今更ケール
ぶっつても
遅エぞ!!!

数学よりの方が
セックスが好き
しろ!!!





はい

ん？

…あれ？



皇帝、犬に墮つ。

2023・07・30・私に説けない悪はない 発行

by・超負荷
pixiv/59526918
twitter/@cho_f
mail/overkil1@yahoo.co.jp
printed・株式会社 サングループ 様

18歳未満の方の購入・閲覧を禁じます。
転載、転用、オークション・フリマサイトでの転売、複製、AI学習(IGI)、無断アップロード等すべて禁止。
不買の際は商業してください。
本書は個人の趣味による発行物であり公式・史実・原典とは一切関係ありません。

モリアーくん……
好きだ……

皇帝、犬に墜つ。

FGO Unofficial Fan Book

MOB MASTER×JAMES MORIARTY-RULER-

絶対絶命/超負荷